

地域計画

策定年月日	令和7年2月27日
更新年月日	()
目標年度	令和11年度
市町村名 (市町村コード)	福島県郡山市 07203
地域名 (地域内農業集落名)	富久山地区 (白石田、ハツ山田、南小泉、北小泉、堂坂)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	221 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	221 ha
② 田の面積	169 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	54 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	19 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	46 ha
(参考) 区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

富久山地区は、農業者の平均年齢69.68歳と高齢化が進み、遊休農地の更なる増加が懸念されることから、持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めるためには、新規就農者を確保・育成しつつ、地域住民などを交え地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が喫緊の課題である。

このため、分散する担い手の農地を集約化するとともに、地域で取り組める新たな作物や栽培方法を検討していく必要がある。

【地域の基礎的データ】

農業者:206人(うち50歳代以下19人) ※農林業センサス2020より

団体経営体(法人・集落営農組織等) 6経営体

主な作物:水稲、露地野菜(長ネギ、白菜、大根、ブロッコリー)、施設野菜(キュウリ、トマト、ミニトマト)、畜産(肉用牛) 等

- ・地域の農業者の高齢化が進み、さらに後継者不足により、地域農業の将来について不安が大きい。
- ・鳥獣被害(アライグマ、ハクビシン、タヌキ等)が増加している。
- ・農産物の価格が安く、後継者が育たない。
- ・用水路の劣化により、水漏れが発生するなど農作業に支障をきたしており、さらに、10年後を見据えた集約化が進んだとき、実際の農業者だけでは水路等の維持は困難である。
- ・作業効率化を図るため、基盤整備等の取組み可否について検討することを地域で考える。
- ・阿武隈川流域は水害が懸念され、持続的に営農活動できるよう関係機関と連携しながら対策を検討していく。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

認定新規就農者等地域内の後継者の育成や、機械の共同利用、リースなども積極的に検討していくことや、地域内で法人を設立することで後継者の確保を図るとともに、担い手への農地集約化のため、農業を担う者への農地再分配を進めることができるよう、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図る。

また、地域の所得向上等の観点から、地域の定期的な話し合いにより、ブランド化を図ることや6次化製品の開発等の当地区の特色を出す取組みを行うことを積極的に検討する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針					
農地中間管理機構への貸付けを進めつつ、担い手(認定農業者、認定新規就農者、農業法人、集落営農法人)への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。					
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標					
現状の集積率	39.5	%	将来の目標とする集積率	70	%
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標					
令和11年度				団地面積の拡大を進める。	

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組	
地域の農業を担う者に農地の集積・集約化をすすめ、団地面積の拡大を進めるとともに、農作業の省力化を図る。	
(2)農地中間管理機構の活用方法	
地区内の農地所有者が離農するなどの場合には農地中間管理機構等を活用し、機構に貸付を進めていく。 また、農業を担う者が何らかの事情により営農の継続が困難になった場合には農地中間管理機構の機能を活用して、新たな受け手へ農地の貸付を進め、農地が荒廃しないよう努めていく。	
(3)基盤整備事業への取組	
基盤整備未実施の地区は、借り手がなく農地の遊休化が進んでおり、小区画の農地等は担い手にとって作業を効率的に行うことが困難であることから、将来に向けてほ場整備等の取組みを検討していく。多面的機能支払組織も活用し、農道・用排水路等の維持管理等を継続していき、担い手が効率的な農作業を行っていきける環境を整えていく。	
(4)多様な経営体の確保・育成の取組	
農地を次の世代に引き継げるよう、話し合いの場を定期的に持ち、地区内の新規就農者・後継者・定年帰農者などの担い手等情報の共有を図るほか、集落内農業者だけでは農地の保全は難しいと判断した際には、集落外からの入者について農業を担う者に加えていき、地域ぐるみで技術などの支援を行うとともに、担い手確保・育成に努める。 また、農業用機械や施設等の導入、更新等の際には補助事業等を活用するとともに、機械の共同利用やリースなども積極的に検討していく。	
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組	
地域内で農業支援サービス事業体等へ委託できる作業で可能なものがあれば順次委託することを検討する。	

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害が拡大しないよう防止柵等を設置に向け行政と連携し検討するとともに、目撃情報や被害情報があった場合には速やかに対応できる体制構築を行うことや点検マップの作成を行い、遊休農地の解消に努める。併せて地域内外から捕獲人材の確保・育成を進める。
- ⑦遊休農地が新たに発生することを予防するため、干しいも加工用のさつまいもなどの比較的手がかからない農作物などの生産などを検討していく。併せて、同地区で多面的機能支払交付金制度に係る活動を行うことで農地の荒廃を防いでいく。
- ⑧多面的機能支払組織等の活動を継続することにより、農道、用排水路等の維持管理を行い地区の農地を守っていく。現在、水路の劣化により水漏れが発生するなど農作業に影響を及ぼす状況であるため、水路を利用する他地域と相談し、市街化地域との隣接により作業性の悪い地区についても共同で修理や保全を検討していく。また、農業者だけの作業は今後難しくなっていくと思われることから、地域の方にも協力いただき、地域で農業を保全していきたい。
- ⑨耕畜連携(循環型農業)を行うことを地域内で積極的に検討を進めていく。
- ⑩阿武隈川流域は水害が懸念され、また、近年多発している災害や気候変動による農業生産への影響が大きくなっており、持続的に営農活動が行えるよう関係機関と連携しながら対策を行っていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
	別紙1のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	32経営体		25.8 ha	0 ha		72.1 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

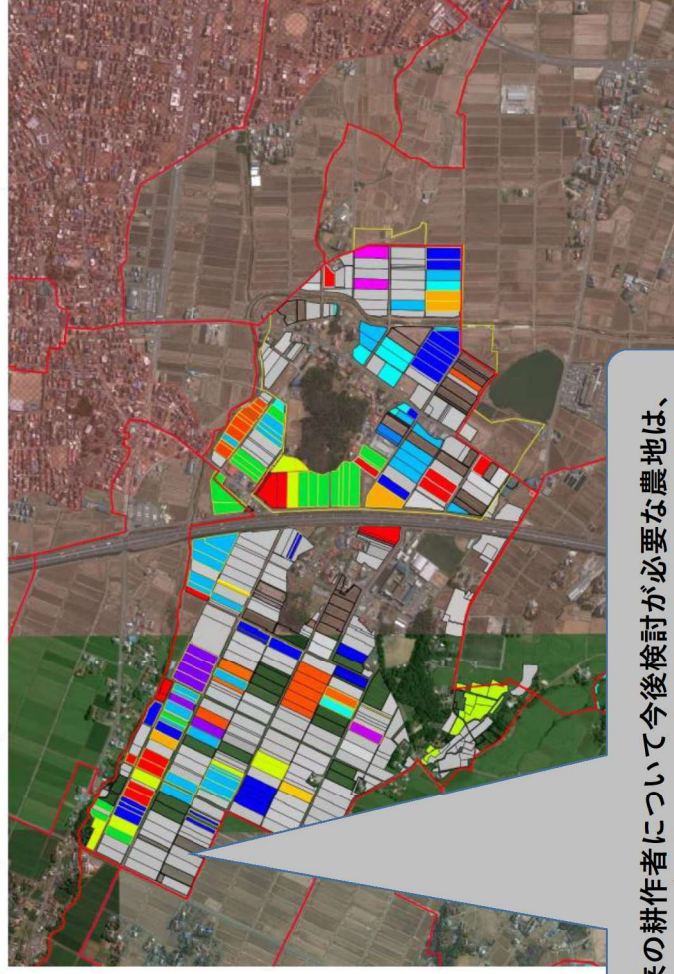
	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	A	稲作＋露地果樹	1.6 ha	ha	稲作＋露地果樹	1.6 ha	ha		
		B								
		C								
2	認農	D	稲作	1.8 ha	ha	稲作	1.8 ha	ha		
		E								
3	認農	F	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.4 ha	ha		
4	認農	G	稲作	0.1 ha	ha	稲作	35.5 ha	ha		
5	認農	H	稲作＋露地野菜	0.5 ha	ha	稲作＋露地野菜	2.0 ha	ha		
6	認農	I	稲作	0.0 ha	ha	稲作	1.2 ha	ha		
7	認農	J	稲作＋施設野菜	0.0 ha	ha	稲作＋施設野菜	0.2 ha	ha		
8	認農	K	稲作	0.8 ha	ha	稲作	0.8 ha	ha		
9	認農	L	肉用牛(肥育)	2.5 ha	ha	肉用牛(肥育)	2.5 ha	ha		
10	認農	M	稲作	0.0 ha	ha	稲作	3.0 ha	ha		
11	認農	N	稲作＋施設野菜	2.0 ha	ha	稲作＋施設野菜	1.0 ha	ha		
12	認農	O	エディブルフラワー＋有機野菜	3.7 ha	ha	エディブルフラワー＋有機野菜	3.7 ha	ha		
13	認農	P	稲作	0.1 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha		
14	認農	Q	稲作	1.6 ha	ha	稲作	2.0 ha	ha		
15	認農	R	施設野菜	2.0 ha	ha	施設野菜	2.0 ha	ha		
16	認農	S	稲作＋雑穀・いも類・豆類	0.0 ha	ha	稲作＋雑穀・いも類・豆類	0.6 ha	ha		
17	認農	T	稲作	0.1 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha		
18	認農	U	稲作	1.4 ha	ha	稲作	1.8 ha	ha		
19	認農	V	稲作＋麦類作	0.3 ha	ha	稲作＋麦類作	0.3 ha	ha		
20	認新	W	施設野菜＋露地野菜	0.5 ha	ha	施設野菜＋露地野菜	0.8 ha	ha		
21	認新	X	施設野菜＋露地野菜	0.7 ha	ha	施設野菜＋露地野菜	0.4 ha	ha		
22	利用者	Y	施設野菜＋露地野菜	0.0 ha	ha	施設野菜＋露地野菜	0.1 ha	ha		
		Z								
23	利用者	AA	稲作	1.1 ha	ha	稲作	1.1 ha	ha		
24	利用者	AB	稲作	1.0 ha	ha	稲作	0.7 ha	ha		
25	利用者	AC	稲作＋野菜	0.1 ha	ha	稲作＋野菜	0.7 ha	ha		
26	利用者	AD	稲作＋野菜	0.0 ha	ha	稲作＋野菜	0.8 ha	ha		
27	利用者	AE	稲作＋野菜	1.1 ha	ha	稲作＋野菜	0.9 ha	ha		
28	利用者	AF	稲作＋ネギ	1.2 ha	ha	稲作＋ネギ	3.1 ha	ha		
29	利用者	AG	稲作＋露地野菜	0.0 ha	ha	稲作＋露地野菜	0.1 ha	ha		
30	利用者	AH	肥育牛	0.0 ha	ha	肥育牛	1.1 ha	ha		
31	利用者	AI	野菜等	0.0 ha	ha	野菜等	0.4 ha	ha		
32	利用者	AJ	稲作	1.6 ha	ha	稲作	1.3 ha	ha		
33				ha	ha		ha	ha		

目標地図の見方

「目標地図」は、地域計画の中で「農業を担う者」として位置付けられた方が、将来（おおむね10年後）、具体的にどの農地を耕作するかを、地図で表示したものです。

地図は、人・農地プランまたは農業集落単位で作成しています。

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0106	大槻町	【プラン】大槻町山下	2024/12/27



将来の耕作者について今後検討が必要な農地は、着色されず、枠のみの表示となっています。

■ 上記以外の耕作者の方

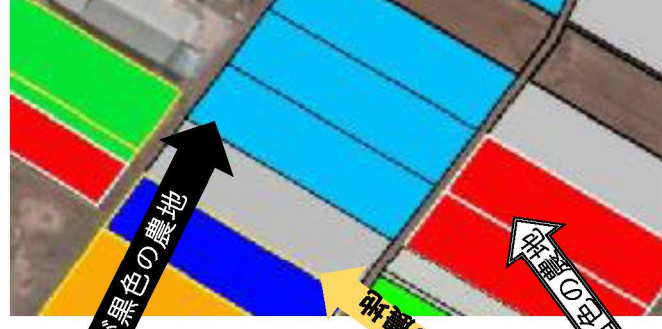
※着色の無い農地は今後検討

地域計画上の「農業を担う者」になっていない農業者の方が耕作予定の農地は、グレー（灰色）で表示しています。

地域計画上の「農業を担う者」の氏名と、地図上の色を示しています。
枠の色は、地図上の農地の枠線の色を表しています。

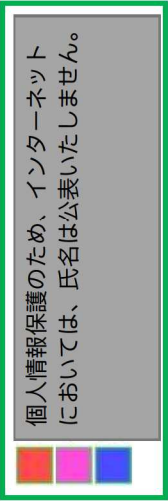
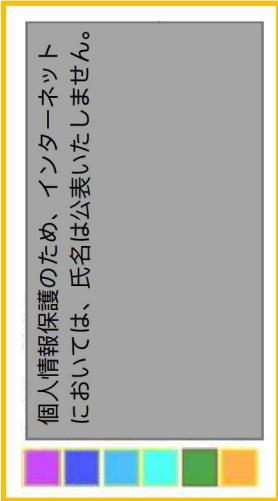
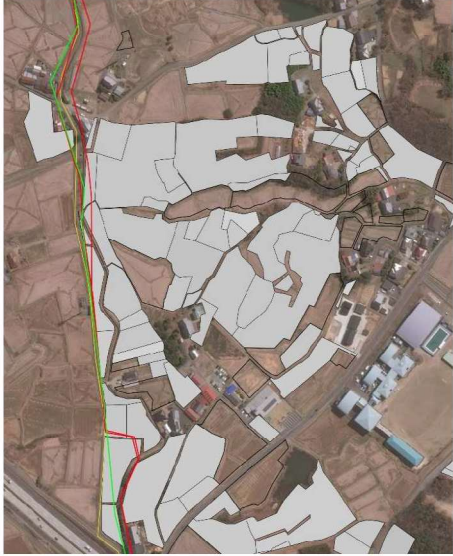
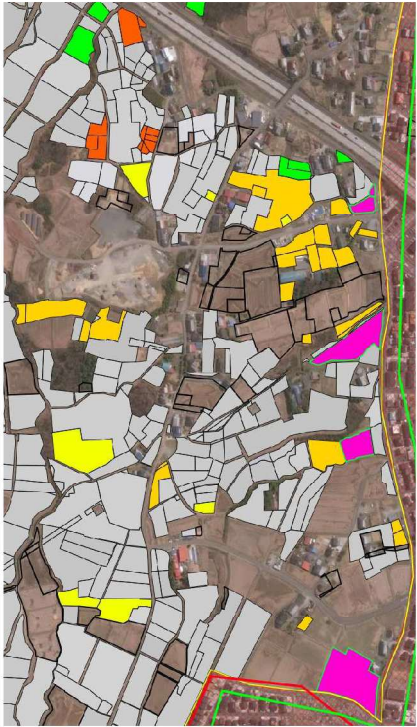
※農業を営んでいても、地域計画上の「農業を担う者」になっていない方の氏名は、記載されておりません。

※枠囲みは、地図の作成作業の過程でランダムに決定しており、何らかの基準等によりグループ分けしたものではありません。



二重線の枠は、地図上の農地の枠が白色の農地を表しています。

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0904	富久山町	【集落】 富久山町_002_福 原	2025/2/6
0905		【集落】 富久山町_003_白石田	
0906		【集落】 富久山町_004_牛ヶ池	
0907		【集落】 富久山町_005_八山田	



※着色の無い農地は今後検討



上記以外の耕作の方

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0908	富久山町	【集落】小泉村_001_南小泉	2025/2/6
0909		【集落】小泉村_002_北小泉	
0910		【集落】小泉村_003_堂 坂	

